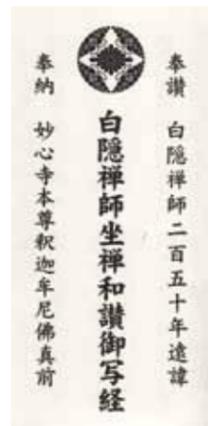


やっつます  
あつまれ!  
写経の日程



第4土曜日の午後1時半から4時半まで本堂で写経ができます。  
都合の良い時間に来て、ご自分のペースで写経して、お好きな時間にお帰りください。ただし、初めての時はなるべく1時半にご参集ください。もちろん、檀家さん以外でも参加できます。お友だちを誘ってお越しください

【写経】令和7年下半年開催日

9月	27日(土)	午後1時半～四時半
10月	25日(土)	午後1時半～四時半
11月	22日(土)	午後1時半～四時半
12月	27日(土)	午後1時半～四時半

【日曜の朝の坐禅体験】

やっつます



毎週日曜日の朝六時～七時まで、松岩寺本堂での坐禅に一般の方も参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初心の方には、坐り方をご案内します。三十分坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に終わります。

やっつます

【金つぎ教室】講師 花輪滋實

第四土曜日 午後1時半～四時半まで

新企画

【大人のためのリトミック】講師 大澤佳奈子

9月	6日(土)	午後三時～四時
10月	4日(土)	午後三時～四時
11月	8日(土)	午後三時～四時
12月	13日(土)	午後三時～四時

「暑さ寒さも彼岸まで」とは有名な言いつたえだけど、今年の秋の彼岸はどうなっているでしょうか。

彼岸法要のあとは、マリンバ・ミニコンサート。国語辞典でマリンバを引くと「木琴の一種。メキシコや中南米に始まり、音源の下に共鳴管を備えているのが特色」とあります。松岩寺の本堂でどう響くか。

本堂はすべて椅子席です。椅子を並べる間隔を調整するため、電話・FAX・Eメール等でご出席をお知らせください。

【編集後記】 1

◇お彼岸だからと言って、おはぎやぼた餅を作りする、なんて方は少なくなっただでしょうか。脚本家の筒井ともみさんに『気難しいおはぎ』と題したエッセイがあります。そのなかに次のような一節がありました。「母が亡くなって、私はまだ一度も自分でおはぎを作ったことがない。母の味に適(かな)わないからでもあり、そう思い出すことがお彼岸のときの母へのなによりの手向(たむ)けだと思うから」。さすが、映画脚本『阿修羅のごとく』で日本アカデミー賞を受賞した作家。お彼岸におはぎをつくらない言い訳としては絶妙の名せりふです。お仲間の方は、マネをして作らない理由にしてみましたいかがでしょうか。  
◇さて、筒井さんは「おはぎ」と書いているけれど、同じようにあんこが主役の食品に「ぼた餅」があります。おはぎとぼた餅は、どこがちがうのか。人工知能(AI)に聞いてみました。答えはというと、「へい」と質問ですね。「ぼたもち」と「おはぎ」は実は同じ食べ物なのですが、呼び方や季節によって違いがあります。牡丹餅は春に食べるときの呼び名。牡丹の花にちなんでいます。御萩は秋に食べるときの呼び名。萩の花にちなんでいます。  
◇「いい質問ですね」とAIからほめられてもうれしくもないけれど、私は日ごろからネットに流布している事をあまり信用しないように心がけています。裏面の【編集後記】2に続く

9月20日(土=彼岸入り)から23日(秋分の日)まで、朝8時から夕方4時頃まで、墓地では花と線香を用意しております。

